5/8 長年の功績に敬意を表して

−法務省人権擁護局長・長崎地方法務局長表彰 受賞−

厳原合同庁舎で開催された平成29年度対馬人権擁護委員協議会総会で、長年、委員として啓発活動等に尽力された武田朋三さん（中央）が法務省人権擁護局長感謝状を、鳥屋洋美さん（左）薄本利夫さん（右）が長崎地方法務局長表彰をそれぞれ受賞されました。これまでの経験等を活かし、今後ますますのご活躍が期待されます。

5/13 看護の心をみんなの心に

―看護の日in対馬―

対馬市交流センターで、5月12日の看護の日に合わせてイベントが行われました。対馬病院川上眞寿弘院長による「認知症は予防できる？」と題した講演会や、まちの保健室コーナーでは、来場した市民に健康相談・血圧測定などを行い自身の身体の状況を確認しました。

5/27 厳原町小茂田の吉田さんがダブル受賞

―長崎県乾しいたけ品評会―

美津島体育館で第57回長崎県乾しいたけ品評会が行われ、厳原町小茂田の吉田永さんが、最高賞の農林水産大臣賞（どんこ／箱物）と2位の林野庁長官賞（香信厚肉／箱物）をダブル受賞しました。吉田さんは「散水をこまめに行ったことが受賞につながった。今後も賞に恥じないようにしいたけ栽培に一生懸命取り組みます。」と抱負を述べました。

5/30 対馬のみなさまのお役に立ちたい一心で!

―「対馬プロジェクト」発動!!―

厳原町の櫓門前で九州電力株式会社対馬配電事業所が「対馬プロジェクト」と銘打ち、石垣の雑草等の清掃作業を行いました。『ともそう灯り、届けよう笑顔～すべては対馬のために～』を事業所スローガンとして、7月は漁火公園の外灯のペンキ塗りや、簡単な清掃作業も予定しています。

県大会出場を獲得したのは？

5月13・14日、峰町と豊玉町で中学生のスポーツの祭典「対馬市中学校体育大会（球技・武道の部）」が行われました。3年生にとって最後となるこの大会では、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、県大会出場を目指しました。

県大会出場は以下の通りです。（敬称略）　※○数字は順位

◎バレーボール男子…………①雞知中
◎バレーボール女子…………①西部中②仁田中
◎バスケットボール男子……①豊玉中
◎バスケットボール女子……①久田中
◎ソフトテニス団体男子……①比田勝中②佐須奈中
◎ソフトテニス団体女子……①雞知中
◎ソフトテニス個人男子……①加瀬 颯大・早田 恭佑ペア（雞知中）
②細井 大介・畑島 良亮ペア（比田勝中）
③須川 勇太・木寺 健介ペア（比田勝中）
③松永 航汰・大浦 郁月ペア（比田勝中）
◎ソフトテニス個人女子……①藤 栞里・井 愛花ペア（雞知中）
②橘 智華・川本 菜々美ペア（雞知中）
◎剣道団体男子………………①厳原中
◎剣道団体女子………………①東部中
◎剣道個人男子………………①葉山 零児（厳原中）②扇 大空（厳原中）
◎剣道個人女子………………①財部 華帆（東部中）②平山 詩菜（東部中）

チーム一体で悲願の優勝

4月23日、日本武道館で全国から117チーム675名が参加した「第61回全日本銃剣道優勝大会（防衛省第2部）」で、陸上自衛隊対馬駐屯地チームが、優勝の栄冠を勝ち取りました。対馬駐屯地チームは平成13年に行われた第45回大会以来16年ぶりの栄冠で、權藤（ごんどう）監督は「来年の連覇を目指してがんばります。」と抱負を述べました。

（敬称略）

監　督	：1等陸曹	權藤 惠介
先　鋒	：2等陸曹	尾崎 秀次郎
次　鋒	：2等陸曹	塩釜 清彦
中　堅	：2等陸曹	森田 年彦
副　将	：3等陸曹	竹中 宏信
大　将	：1等陸曹	北 慎一郎

市長に優勝報告をする対馬駐屯地チーム

次鋒：塩釜2曹（右）の強烈な喉への一撃

『老稚園（ろうちえん） いいとこ』で笑顔いきいき!!

週に一度、1人暮らしのお年寄りや身体に障がいがある人たちが集まって、何やら楽しい時間を過ごしているらしいという情報をいただき、上対馬町古里のある飲食店におじゃましました。

そこでは利用する人も、お世話する人も、ワンコイン（500円）で1日たくさん笑って活き活きと過ごすことができるそうです。介護施設？ケアセンター？いえいえ！ここは「老稚園」。主催する辻 清美さんの長年の夢と思いがたくさんつまった、とってもあったかい場所なんです。

老稚園「いいとこ」とは……

地域に住む1人暮らしや障がいがある人たちに交流の場を提供していきたいと、上対馬の飲食店「ももたろう」の経営者である辻 清美さんが一昨年の8月にボランティアで立ち上げた福祉活動。

活動は、毎週木曜日に店内を開放し、午前10時から午後３時まで行われています。

ももたろうの従業員をはじめ、元看護師や保育士・主婦・整体師など21人がボランティアとして関わっています。公的な補助を一切受けず、利用者もボランティアもワンコイン（500円）の利用料を払い運営のすべてを自費でまかなっています。

どんなことをしているの？
笑いと笑いと笑いの「老稚園」

ある1日の流れ

ボランティア看護師による問診や血圧チェック
↓
トランプやレクリエーションなどの自由活動
↓
地元の旬を取り入れたお昼ご飯
↓
健康体操
↓
おやつタイム

1番人気はなんとトランプ!!
白熱しています。

みなさんが自由に活動している間に辻さんたちは厨房で大忙し。料亭仕込みの昼食も老稚園の魅力の1つです。

隣接する食料品店で買い物をする参加者

参加者の皆さんが持ちよった食材で作った昼食。

辻さんの娘、寿美恵さんもスタッフの1人。看護師でもあるので、利用者さんの健康チェックから、料理・トランプの盛り上げ役・カラオケ操作までフル回転。

みんな一緒にランチタイム

「ろうちえん」立ち上げに協力し、健康体操も教えていただいている平間静穂さん（健康運動指導士）

季節の行事も楽しんでいます。味噌づくりや遠足・クリスマス会・敬老会などもあるそうですよ。（写真は昨年の七夕まつり）

老稚園は私の人生の夢でした

もう20年以上も前のことです。漁協に勤務していた私は、働き盛りの漁師さんが不慮の事故で車いす生活になり、自由に外出したり、食事など生活が不便になる様子を目の当たりにしました。その時、まずはバリアフリーのお店を作ろうと決心しました。さらに自分を生かし支えてくださった感謝の気持ちを地域に返したいという気持ちもありましたので、時間はかかりましたが、一昨年の8月にやっと老稚園を開園することができました。

老稚園　園長　辻 清美さん
（上対馬町古里）

仲間も一緒に夢を支えてくれる幸せ

事あるごとに「みんなが楽しく集える居場所が作りたい。お年寄りも。」と言い続けていましたから、開園する時も、一緒にやろう、できることは協力するからとたくさんの方が応援してくれました。ボランティアの皆さんは経験豊富で、私は何もすることがないくらいです（笑）保育所の園児さんとの交流、警察や消防署さんの講話なども行っています。開設当初から親身になってくださっている平間静穂さんも忙しい中、時間をさいて健康体操を教えていただいています。

誰もが無理しない自然体の活動を

施設が行っている事業に比べると物足りないかもしれませんが、自然体で気ままにおしゃべりして居心地の良い場所を作りたいと思っています。ちょっとした心配りと思いやりを大切に、自由で自然なコミュニケーションが継続できたらと。そして私自身もここで地域の仲間と楽しく老稚園生活を送りたいなと願っています。今後、対馬の高齢者問題はますます深刻になってくるでしょう。そんな中、小さいけれど私たちのような民間の活動が高齢者の生きがいに繋がっていけば幸せです。みなさんもお気軽に「老稚園いいとこ」にお立ち寄りください。

清美さんの応援団長

ご主人の辻 侃（あきら）さん

人のお世話が好きな妻は、心の中でやりたいと温めていたものを自分が一番楽しみながらやっています。誰もが「できることをできる範囲で助け合えればそれが理想」ではないでしょうか？自助や共助で支え合う社会には心の豊かさが生まれます。「出張老稚園」もやってみたいねと夫婦で話しています。

ボランティア

平田 幹子さん（泉地区・元保育士）

辻さんとは古くからの友人で、老稚園が開園して以来、毎週通っています。料理の手伝いからはじまり、昼食後は主に健康体操のインストラクター役を。時には趣味の茶道でみなさんと交流させてもらっています。みなさんの笑顔を見るのが一番の楽しみ。そして将来的には私にとっても、ここが老後の居場所の1つになるはずです。私は、自分たちの世代を「ヤングシルバー」と呼んでいます！対馬の若者が減っている今、まだまだ身体が動くこの世代が地域づくりにもっと活躍できればいいですね。

板井 達夫さん（泉地区・整体師）

毎週夫婦で、ボランティアスタッフとして参加しています。別室でマッサージをしているとみなさんの笑い声が聞こえてきて、その声がどんどん大きくなっていきます。もうすぐ２年になりますが、利用者の方々が本当に明るく元気になりました。みなさんの健康づくりに少しでもお役にたてたらと思っています。

元々私は自衛官。退官前は全く地域の実情が見えていませんでしたが、今は地域と触れ合い、日々心が豊かになっていくのを感じます。ここに来るようになって夫婦も円満になりましたよ（笑）この老稚園が１つのモデルケースになって、地域に支え合いの輪が広がっていけばと願います。

利用者

山下 登喜子さん（小鹿地区）

板井さんのマッサージが何より楽しみです。脳梗塞を患い身体が不自由になりましたが、ここで笑ってみるみる元気になっています。

大浦 都さん（泉地区）

老稚園には毎週通い、みなさんと楽しい時間を過ごしています。トランプが楽しくて！勝負がかかるといくつになっても盛り上がって何回戦もやるんです。時間がたつのを忘れるくらい笑ってばかり、清美さんたちの作ってくれる昼ごはんも最高に美味しいんですよ。

「老稚園 いいとこ」から聞こえてくる笑い声はとにかく賑やか、そして時間が経つほどに何だか皆さんが若返っていくようです。

その明るいひと時に、1人よりも2人、2人よりも3人4人と、思いを共にする人が多いほど喜びも大きくなるのを感じました。そして「小さな思い」の持ち寄りが地域を支える「大きな力」になっていることも…。こんな幸せな場所が増えるといいですね。